

公営宿舎、仮設住宅などの避難生活支援事業に1,781万5千円、いやしの宿運営費として2,051万3千円等④原子力災害をりこえる：までいな除染会議等に391万5千円等⑤までい「ブランドを再生する」避難先市町村でのパイプラウス等の導入へ助成する農業者避難支援事業に1,500万円、松川仮設住宅内直売所を支援する商品PR販売事業業務などに1,938万円、ブランド牛維持振興のための畜産農家支援事業に437万5千円、ベンチャーエンターテイメント企業創出支援事業に450万円、食品・農産物放射線測定事業に1,075万4千円等

むし歯ゼロの子表彰式が福島市飯野学習センターで開催され、18人の子どもたちが表彰されました。むし歯ゼロの子は、3歳5か月児健診の際にむし歯のなかつた子どもたちが対象で、式では村長から一人ひとりに表彰状とメダルが渡されました。表彰された子どもたちは会場で元気な笑顔を見せました。

むし歯ゼロの子表彰式が福島市飯野学習センターで開催され、18人の子どもたちが表彰されました。むし歯ゼロの子は、3歳5か月児健診の際にむし歯のなかつた子どもたちが対象で、式では村長から一人ひとりに表彰状とメダルが渡されました。表彰された子どもたちは会場で元気な笑顔を見せました。

むし歯ゼロの子表彰式が福島市飯野学習センターで開催され、18人の子どもたちが表彰されました。むし歯ゼロの子は、3歳5か月児健診の際にむし歯のなかつた子どもたちが対象で、式では村長から一人ひとりに表彰状とメダルが渡されました。表彰された子どもたちは会場で元気な笑顔を見せました。



3/17

むし歯ゼロの子表彰式

子育て講演会 を飯野町で開催

▲表彰式に参加した子どもたち

坪倉医師は、震災後、早い時期から村民を対象として講演を行いました。

東京大学医学研究所研究員の坪倉正治医師が「内部被ばく検査の現状」南相馬市立総合病院での検査結果を踏まえていました。

また、表彰式終了後には同会場で子どもの健康講演会が開催されました。

の検査結果や検査結果の推移を踏まえながら、体内の放射性物質は減少していること、今後内部被ばくを抑えるためには食生活に注意を払う必要があること、また、今後も子どもの甲状腺検査、内部被ばく検査を継続することが大切であると説明していました。

講演ではそれら



▲講演会のようす

3/1

いやしの宿いいたて 来場者1万人突破

福島市飯坂町にある「いやしの宿いいたて」の来場者が3月1日に延べ1万人を突破し、1万人目の来場者に記念品が渡されました。

いやしの宿は昨年の9月12日に開所してから、温泉施設を完備した村の施設として、温泉の利用や会議などの場として多くの村民が利用してきました。

1万人目の来場者となった菅野寅男さん（長泥）さんは「私はお風呂が大好きで『いやしの宿いいたて』に毎週水曜日に入りに来ています。

ここは、源泉かけ流しえきれいな湯なのでとっても気持ちがいいです。今日は友達を誘って4人で来ました。1万人目になって、とてもうれしいです。」と喜びを語りました。

いやしの宿では「昨年9月にオープンから、1万人の方々に利用していただきました。この施設は文字どおり住民の方々の『こころ』のいやしの宿となっています。源泉かけ流しの湯で疲れをとっていただき、みんなさんの集まる場所として今後も村民のみなさんにいやしの場として利用していただけるよう頑張ります」としています。



▲いやしの宿スタッフから記念品を受ける菅野さん（写真左）

歳入歳出総額をそれぞれ1億4,008万1千円としました。これは、前年度に比べ、5,331万1千円（27.6%）の減です。

これは、震災と原子力災害の被災者に対する平成24年度の軽自動車税を引き続き減免するための改正です。

平成24年度飯館村簡易水道事業特別会計予算

円（7.9%）の減です。

主な内容は、①「生活支援対策課」と「復興対策課」の新設、「産業振興課」と「生涯学習課」を統合再編し、「教育課」にする改正です。

構改革審議会の答申により、震災と原子力災害に対応できるよう、役場行政機構を一部改正するものです。

東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例

一部負担金免除対象者を拡大し、一部負担金の軽減を図り、子育て世帯への経済的支援を行うものです。経

歳入歳出総額をそれぞれ9億1,261万円としました。これは前年度に比べ、3,355万5千円の増率にして3.8%の増です。

歳入歳出総額をそれぞれ7億9,205万2千円としました。これは前年度に比べ、2億641万4千円（35.2%）の増です。

歳入歳出予算の総額を、それぞれ5,393万4千円としました。これは、前年度に比べ、465万5千円としました。

村の復興に向けて生活再建、健康福祉増進、コミュニティ再生などの支援を図るために、「いやしの宿いいたてまでい復興基金」を設置するものです。

既定予算の総額に、831万7千円を追加いたしました。歳入歳出予算の総額を66億4,799万2千円としました。

飯館村国民健康保険条例の一部を改正する条例

主な内容は森林環境交付金事業基金元金371万円、仮設住宅等共益費交付金400万7千円等となっています。

業者避難支援事業に1,500万円、松川仮設住宅内直売所を支援する商品PR販売事業業務などに1,938万円、ブランド牛維持振興のための畜産農家支援事業に437万5千円、ベンチャーエンターテイメント企業創出支援事業に450万円、食品・農産物放射線測定事業に1,075万4千円等

歳入歳出予算の総額を、それぞれ4,855万1千円としました。これは、前年度に比べ、696万8千円（12.6%）の減です。

勤務手当を支給するための改正をしましたが、幼稚園教諭及び管理職等も特殊勤務手当が支給できるように改正するものです。

震災と原子力災害で全村避難となり、福島県森林環境交付金事業の一部実施が困難な状況となつたことから、「飯館村森林環境交付金事業基金」を創設して事業を実施するものです。

既定予算の総額に、831万7千円を追加いたしました。歳入歳出予算の総額を66億4,799万2千円としました。

飯館村森林交付金事業基金条例

主な内容は森林環境交付金事業基金元金371万円、仮設住宅等共益費交付金400万7千円等となっています。

震災と原子力災害に対応できるよう、役場行政機構を一部改正するものです。

一部負担金免除対象者を拡大し、一部負担金の軽減を図り、子育て世帯への経済的支援を行うものです。経

平成24年度飯館村簡易水道事業特別会計予算

15歳（中学校卒業まで）から18歳（高校卒業まで）に

平成24年度 村の組織と職員の配置

各課が担当する主な業務

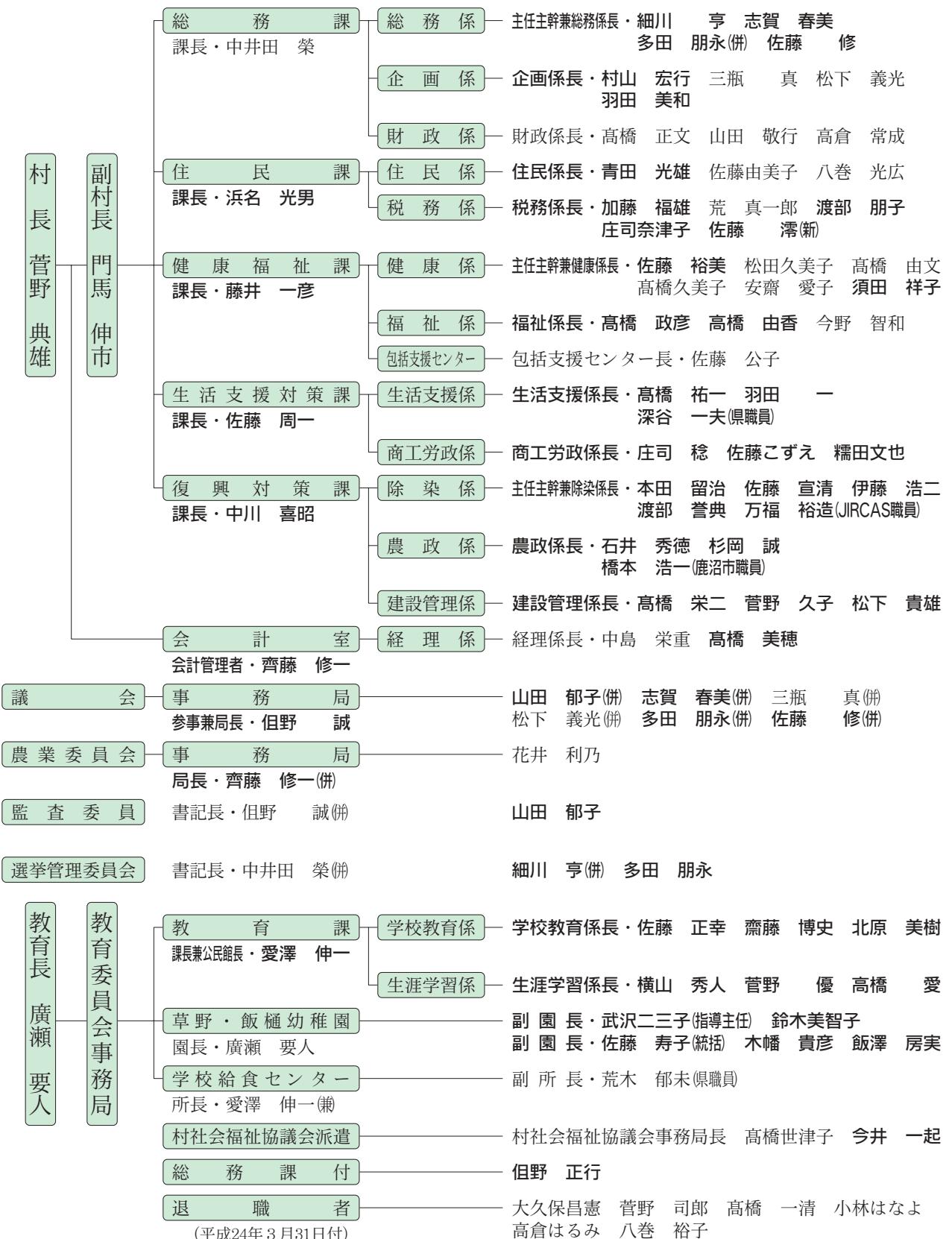
各課が担当する主な業務は次のとおりです。

新設された「生活支援対策課」では仮設住宅や借り上げ住宅の入退去、原発事故の補償に関するなどを行います。また、「復興対策課」では除染に関する業務などを受け持ちます。

課名	係名	業務の内容
総務課	総務係	選挙、消防・防災、行政区、長の秘書的業務、法令、職員の人事、区長会、互助会、共済、給与、郵便、飯館・飯野庁舎維持管理等に関する事
	企画係	復興計画推進・進捗状況管理、新規自治会立ち上げ、放射線・リスクコミュニケーション総括、広報・広聴、自治組織連絡協議会、復興イベント、5次総、コミ担、住民アンケート、住民懇談会、ホームページ、統計、村民の声ネットワーク事業、機構改革、自治会運営、新しいコミュニティづくり支援事業等に関する事
	財政係	予算・決算、入札、(普通・特別・復興特別)交付税、公有財産管理、行財政改革、物品購入、村界、起債、公用車管理、ふるさと納税(一般寄付)に関する事
住民課	住民係	避難者住所管理(二重住民票)、住民所在情報管理システム、証明書(被災)発行、年金、住基、戸籍、畜犬、ごみ、防犯、交通安全に関する事
	税務係	税の賦課・収納、罹災証明に関する事
健康福祉課	健康係	健康増進、健康・リスクコミュニケーション、内部被ばく・甲状腺検査、各種健(検)診、国民健康保険、後期高齢者医療、コミュニティバス、日赤、子育て支援に関する事
	福祉係	災害弔慰金、高齢者・(重度)身障者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、相談・援護、児扶、特児、保育所、子ども手当・児童手当、ひとり親、生保、やすらぎ管理に関する事
	包括センター	高齢者総合相談・支援事業、高齢者権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、介護予防ケアマネジメント事業に関する事
生活支援対策課 (新設)	生活支援係	仮設住宅・公営宿舎・県借上げ住宅の入退去及び施設の維持管理、避難者情報管理、共益費補助、いやしの宿管理運営、避難者支援、仮設住宅等管理人業務管理、義援金受付配付、見舞金配布、日赤家電関係、支援物資に関する事
	商工労政係	原発事故補償・賠償事務、賠償法律相談会、村内操業継続企業・事業所関係、事業所避難・移転に関する事、商工会・商工業者との連携、雇用対策、起業支援、直売所、県縛づくり応援事業、観光に関する事
復興対策課 (新設)	除染係	除染推進事業、モニタリング(空間・食品・水)、除染リスクコミュニケーション、除染組織運営・管理、除染に関する国県要望、除染進捗管理、仮置場、その他他課に属さない除染関係全般に関する事
	農政係	農業再開支援(村内外)、中山間直接支払いに関する事、林業及び農村整備に関する事、有害鳥獣に関する事、農業振興に関する事、木質バイオマス、農地・水・環境保全、土地改良(区)に関する事
	建設管理係	村営住宅・公共施設建設・維持管理、屋根瓦補修事業、農林土木施設の維持管理、農地災、除染等に関する付帯工事・管理、道路、橋梁、河川、水道、農集排に関する事
教育課 (統合)	学校教育係	教育行政、児童生徒教員対象・リスクコミュニケーション、幼稚園仮設園舎、小中学校仮設校舎建設・管理運営(教育施設の維持管理)、教育委員会事務、教育予算、学校保健、スクールバス、学童保育、預かり保育、学校給食センターに関する事
	生涯学習係	生涯学習、沖縄までの旅、成人式、社会教育委員、家庭教育推進、芸術文化団体育成、青少年交流・教育事業、国際交流事業、芸術文化の振興、社会教育及び社会体育団体との連絡調整、スポーツ振興、青少年・女性・高齢者事業に関する事

平成24年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。平成24年度の体制等は次のとおりです。
今年度は機構改革が行われ、産業振興課が廃止され、「生活支援対策課」、「復興対策課」がそれぞれ設されています。

また、教育課と生涯学習課を統合再編し、「教育課」としています。



太字になっているのが、今回の異動者です。
紙面の都合上、職名を一部省略しています。

福島県主催の「3・11ふくしま復興の誓い2012」が開催され、村の子どもたちが県内7カ所をつなぐキャンドルナイトに参加しました。

にゲストで参加した岡本真夜さんも登場し、子どもたちと一緒に「TOMORROW」を歌いました。

この催しは、震災から1年目の節目を迎えるこの日、犠牲になられた方々へ哀悼の誠を捧げ、子どもたちの明るい笑顔があふれる「新ふくしま」の創造に向けて、県民が一丸となって取り組むことを誓うため、追悼式と復興に向けたシンボジウム等を県が開催したものです。

キャンドルナイトが始まつた午後5時30分、子どもたちが参加した県庁前の会場はあいにくの雨模様でしたが、子どもたちはふるさとの復興を願いキャンドルに火を灯しました。

また、このミニライブでは年末に平成22年度幼稚園・小学校の合同卒園・卒業式

「愛児を失うと、親は人生の希望を奪われる。配偶者が亡くなると、ともに生きていくべき現在を失う。親が亡くなると、人は過去を失う。友人が亡くなると、人は自分の一部を失う」(E・ハグロルマン編「愛する人を亡くしたとき」春秋社)という言葉があります。では、故郷を離れることを余儀なくされたことは、どうなのでしょうか。私は、そのことを、愛児、配偶者、親、友人のすべてを失ったことを意味すると信じています。東電の原発事故による計画的避難は、飯館村の人たちから希望という未来、この地で生計を営むという現在、不条理のなかに先祖伝来の土地を離れるという過去の抹消、しかも親しい近隣の方々と離れ離れになるという支え合いの喪失であるに違いありません。これらには言葉では表現できないほど深い悲しみ、怒り、虚しさ、つらさ、苦しみ、絶望感などが伴っていると思われます。

新学期が始まります。このような事態にあっても、子どもたちは、学ぶ意思を確かにし、仲間や先生方との親しい交流を願い、そして親や家族の期待に応えようと希望のなかに学校へ向かいります。飯館村の人たちは、子どもたちの夢や希望を叶える義務を持ち、それぞれの立場でそのための努力を怠つてはならないと思います。

四月、さまざまな喪失を乗り越え、再生を目指して生きるときを迎えています。

子育て相談室

—お気軽にご相談ください—

飯館中学校スクールカウンセラー
臨床心理士
海野和夫

○教育相談は飯館中学校(☎024-566-3100、3118)へ電話でお申込みください。

3月 各幼稚園・小中学校・相馬農業高等学校飯館校で卒業式

3月に入り、村内の幼稚園、小学校、中学校、高校が避難先でそれぞれ修了式・卒業式を行いました。

草野・飯樋の各幼稚園は3月16日、それぞれ避難している川俣・富田幼稚園で行いました。卒園児は両園で25名。

草野小・飯樋小・白石小の合同卒業式は3月23日、川俣中学校体育館で開催されました。卒業生は3校で44名。

飯館中学校の卒業式は3月13日、川俣町中央公民館で開催されました。卒業生は60名。

相馬農業高等学校飯館校の卒業式は福島学院大学で3月1日に開催、23人が卒業しました。



▲飯樋幼稚園修了式のようす（3月16日）



▲草野幼稚園修了式のようす（3月16日）



▲小学校合同卒業式のようす（3月23日）



▲中学校卒業式のようす（3月13日）



▲相馬農業高等学校飯館校卒業式のようす（3月1日）

平成23年度の各学校卒業式会場と卒業人数

卒業月日	学 校	卒業式会場	卒業人数
3月16日	草野幼稚園	川俣幼稚園	12人
	飯樋幼稚園	富田幼稚園	13人
3月23日	草野小学校		19人
	飯樋小学校	川俣中学校	16人
	白石小学校		9人
3月13日	飯館中学校	川俣町公民館	60人
3月1日	相馬農業高等学校飯館校	福島学院大学	23人

